

地域振興推進費事業総括表

提出区分	整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
新規	1	C	御嶽山の国定公園化に向けた機運醸成及び安全登山啓発活動	アルクマを活用したノベルティを作成、配布し、県内外問わず広くPR活動を行うとともに、親子を対象とした御嶽山のエコツアーを開催し、御嶽山の魅力や環境について学習する機会を設ける。また、御嶽山火山防災協議会の活動などを通じて培われた名古屋大学とのつながりを活用し、県外(候補地:名古屋大学、中日ビル)で啓発活動を実施する。	令和6年6月 ～ 令和6年10月	
新規	2	C	木曾地域少子化・人口減少対策(案)構築事業	木曾地域の少子化・人口減少への適応策をつくるための、先進地視察、検討会及び検討会を開催する。	令和6年5月 ～ 令和7年3月	
新規	3	B	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業(松本地域振興局)	松本空港経由のレンタカー使用者の、空港周辺地域への周遊を促進するため、観光クーポンブックを配布する。(松本、北アルプス、木曾、諏訪、長野、上田、飛騨地域)	令和6年4月 ～ 令和7年3月	
新規	4	C	ふるさとの思い出造成事業	一町村にスポットを当て、子どもたちが地域の特産品などを活用し、地域の企業等と協働で作業等の体験をすることにより、ふるさとへの想いを深めてもらう。	令和6年5月 ～ 令和6年3月	
新規	5	C	木曾の美しい星空を活かした地域づくり事業	木曾町三岳の東京大学木曾天文台や木曾町開田等の美しい星空をPRし、県内外から人を呼び込むため、東京大学天文学研究センター教授等の講演会を開催する。	令和6年6月 ～ 令和7年3月	
新規	6	C	ふるさと納税確保促進事業	木曾郡内各町村の自主財源確保(ふるさと納税確保)の取組を促進させるため、管内6町村を対象に、ふるさと納税額の多い町村(県内、県外問わず)への視察や、ふるさと納税額の多い町村担当者、実績のあるコンサル等を講師に招いて返礼品の開発、集め方、使用方法などのノウハウについての講演会、勉強会を開催する。	令和6年5月 ～ 令和7年3月	
新規	7	C	木曾地域木材産業振興対策推進事業	・効果的な流通に必要な原木仕分実証を継続して行うとともに、木曾地域の水平連携の構築に向けたアドバイザーによる課題調査、優良事例調査、連携体制の検討等を行う。 ・また、新たな木材需要を喚起するため、全国規模で開催される「ウッドコレクション2025(モクコレ)」に出展し、木曾産材及び製材品等の啓発活動を展開する。	令和6年6月 ～ 令和7年3月	
新規	8	C	木曾地域広域観光推進事業	・町村等と連携し、広域観光振興の方向性を定めるとともに、ビジョン策定に向けた勉強会等を開催し広域観光振興に向けた当地域の機運を醸成する。	令和6年5月 ～ 令和7年3月	
新規	9	B	木曾地域観光・農産物等魅力発信事業	局内の課・所、管内町村及び木曾広域連合等と連携し、中日ビル(中京圏)、ららぽーと甲子園(関西圏)において、ポスター展示、チラシ配布、地場産品の販売、試食提供など、木曾地域の観光と農産物等をPRし、木曾地域の認知度向上を図る。(中日ビルでのPRは、中日新聞社主催の移住フェアに併せて実施予定。)	令和6年6月 ～ 令和7年2月	
新規	10	C	社会的起業支援事業	木曾地域で起業を目指す方を対象に、起業マインドを高めるための研修会を開催する。また、過年度(R1～R4年度)の研修会参加者を対象にフォローアップ講座を開催する。	令和6年5月 ～ 令和6年10月	
新規	11	C	木曾地域農産物認知度向上事業	局内各課及び農政関係団体と連携し、県内外において木曾地域の農産物の試食販売、ポスター掲示、チラシ配布、観光PR、安全登山啓発等を実施し、木曾地域の農産物及び観光等をPRするとともに、木曾地域の農産物及び観光等の認知度向上を図る。	令和6年6月 ～ 令和7年2月	
新規	12	B	木曾地区災害時医療救護訓練	災害時を想定し、災害医療シミュレーションキット(エマルゴトレーニングシステム)を使用した机上訓練を行い、スタッフの技量向上を図るとともに関係機関間の連携を確認・検証する。	令和6年8月 ～ 令和6年12月	
新規	13	B	専門科の全国募集に係る先進的取り組み高校視察	全国の、専門科(観光科、スポーツ科など)全国募集を実施し成功している高校と上手くない高校を視察することで、本校が森林環境科の全国募集を行う際、より本校に適した手段を実施する材料とする。	令和6年7月 ～ 令和6年12月	
新規	14	B	リモート林業の教育現場における先進的取り組みの研修	高校現場や大学現場、または大学において、リモート林業の教育実践について先進的に取り組んでいる学校への視察研修、または、該当校から講師を依頼し、研修を積むことで、自校のカリキュラムに反映させる。	令和6年8月 ～ 令和6年12月	